

奈良県立五條高等学校 平成 28 年度 学校運営協議会 全日制部会（第 2 回）

1 日 時 平成 28 年 11 月 21 日（月）13 時 30 分～15 時

2 場 所 奈良県立五條高等学校 小会議室、

3 参加者 （委員）伊野 力平、飯田 明子、山本 肇一（校長）
（事務局）廣田清雄（全日制教頭）、堀口隆志（事務長）、
仲川裕一（全日制生徒指導部長）、谷口達之輔（全日制進路指導部長）

4 内 容

(1) 校長あいさつ、日程説明

(2) 授業参観（5限の授業を参観、別紙参照）

(3) 協議（学習活動の工夫について、学校運営協議会の取組について）

・（説明）

授業を見ていただいたが、異動により教員が入れ替わること、年齢構成の問題（30～40歳代が少なく、50歳以上と20歳代が多い）があり、ノウハウの引継等が課題となっている。

・（質問・意見）

先日、中学校の授業参観にも参加したが、中学校でも英語は少人数でやっていた。評価は難しくないか。

・（回答）

細かく生徒を見ることができ、少人数指導の効果はある。英語は、第1学年では少人数授業でやっているが、第2学年から一斉授業になる。生徒の学力差が大きく、また国語力にも課題があり、どの学年でも少人数・習熟度別授業ができればと思っている。成績を伸ばすという点では課題も残っている。

少人数指導において同じ科目であれば考査や課題等も共通であり、評価をする際、生徒の頑張りをしっかりと反映することができている。

・（回答）

地元の生徒が約40%を占める。中学校と共通するところがあり、入学時の学力差が大きい。学科・コースも複数設定している。多くのニーズに応えるための取組が必要である。

・（質問・意見）

習熟度別の授業はよいと思う。できる生徒もしっかり取り組むことができる。刺激をうける一方、学力差も広がるのでは。先生方も大変だと思う。コンピュータや楽器等、実際に触れるきっかけ、興味・関心が広がる機会がたくさん用意されている。

英語の取組を聞かせていただいたが、国語の取組はどうか。

・（回答）

国語も普通科の一部で、古典分野において同様の取組をしている。使用できる教室等に限りがあり、すべてができていない。よりよい方向性について、今後も検討を続ける。

・（回答）

教員数は、授業の講座数をもとに決められる。県の基準もあり、習熟度別・少人数授業にも限界がある。

・（質問・意見）

習熟度別授業で、入れ替えがおこると思うが、発展コースから標準コースへ移った生徒は刺激をうけて奮起するか。

・（回答）

学習に対する意欲にも差があり、生徒の実態は様々である。定期考査の成績でコース分けしているが、標準コースを希望するケースもある。習熟度も3つに分けるのが理想であるが、教員数のこともあり、現状では難しい。

・（回答）

本校はオーストラリアのガートングラマースクールとの姉妹校提携を結び、取組を進めている。英語教育には力をおいている。

・（回答）

英語、国語は進学においても必要である。現状、本校生は一般入試よりも、指定校推薦、公募推

薦、AO入試等で受験することが多い。公募推薦では、受験科目が少なく、英語、国語の力が求められる。進路講習等を行っているが、なかなか成果を上げられていない現状がある。

一方で、今年度はセンター試験も30名以上受験する。昨年度よりも人数が増えている。

・(説明)

これまで本校では小学校、中学校、地元との連携を図りながら様々な取組を進めている。コミュニティ・スクールの取組とリンクさせながら、地域がもっている教育力を本校教育に活かすことができないか、本校のもっている力を地域に生かすことができないか。地域が学校の応援団となってもらえればと思う。そのために、学校のことを理解していただき、学校が求めていることに対する協力、本校に対し地域が求めていることについて、第2回学校運営協議会でご意見をいただければと思う。学校・家庭・地域が一体となった協働関係を築いていきたい。

・(質問・意見)

五條市出身生徒が多いので、卒業生に協力を得ることができればと思う。

・(回答)

県立学校では難しいところがある。他にもよいアイデアがあれば、提供いただきたい。

(4) その他

・今後の予定について

第2回学校運営協議会 3月までに開催予定

11月21日(月)5限の授業

階	教室	ルーム	科目	授業の特色
1階	1B	1B	数学A	
	1A	1A 1C	数学 I α	1年数学 習熟度別少人数授業
	1C		数学 I β	
	講義室①		数学 I γ	
	1D	1D	国語総合(現代文)	
	1E	1E	英語表現 I	1年英語 習熟度別少人数授業
	マルチ		英語表現 I	
	情報学習室②	1F	社会と情報	ICT環境
1G	1G	コミュニケーション英語 I	ティーム・ティーチング	
3階	簿記実習室	2A	マーケティング	専門教科と普通教科外国語の科目選択
	2A		英語表現 II	
	2B	2B	物理基礎	
	2C	2C	コミュニケーション英語 II	アクティブラーニング型授業
	2D	2D 2E	日本史B	地理歴史科 科目選択
	社会科室		世界史B	
	音楽室	2F 2G	音楽 II	芸術科 科目選択
	美術室		美術 II	
書道室	書道 II			
2階	3A	3A	生物基礎	
	3B	3B 3C	生物(文型)	学びの森(文系・理系)と普通科(文型・文理型・理型)の講座
	講義室②		古典B(理型)	
	3C		数学演習D(文理型)	
	3D	3D	政治経済	
	3E	3E	英語表現 II	
	3F	3F	政治経済	
	3G	3G	国語表現	